



https://kuglobal.w3.kanazawa-u.ac.jp/sie/program/



2023年度金沢大学交換留学生募集要項

交換留学生は金沢大学での学位取得を目的とせず、金沢大学における学習、異文化体験、日本語の実地習得を目的として、おおむね6ヶ月以上12ヶ月以内の期間、金沢大学で教育を受けて単位を修得するか、研究指導を受けることができます。

* https://sgu.adm.kanazawa-u.ac.jp/international/category/agreement/

17-1		() () () () () () () () () ()	↑ 1 当 1 1 1 1 1 1 1 1 1
44		金沢大字交換留字フログラム (KU $\underline{ m KD}$)	金沢大字オンフイン交換留字ブログフム (KUEP-Online)
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	国際機構	《学部レベル》融合学域、人間社会学域、理工学域、医薬保健学域(ただし医学系は医薬保健総合研究科で受入) 《大学院レベル》人間社会環境研究科(博士前期課程、博士後期課程)、法学研究科法学・政治学専攻(修士課程)、自然科学 研究科、医薬保健学総合研究科、先進予防医学研究科、新学術創成研究科	同左たと、医薬保健学域(医学系)は除く
受入身	特別聴講学生	特別聴講学生 (学部レベルの者及び金沢大学で開講されている科目を履修し、単位を修得することを希望する大学院レベルの者) 者) 又は特別研究学生 (大学院生で研究を行う者。なお、単位修得はしない。)	特別聴講学生 (学部レベルの者及び金沢大学で開講されている科目を履修し、単位を 修得することを希望する大学院レベルの者)
衣谷	金沢大学日本語・日本文化研修プログラムは参加学生の日本語能力の向上及び日本社会・文化に対する専門知識の体系的な習得を目的とした、全学習を日本語で行う1年間のプログラムです。本プログラムは、中・上級の日本語(週5講義)、金沢の豊かな伝統文化を含む現代日本社会・文化(週3講義)及び多言語・多文化に関する日本人学生との合同調査(週1講義)から構成されています。更に、日本に関するテーマを選び、1年間にわたり、修了研究を行います。	学域・研究科で通常開講されている講義を受講又は大学院で専門分野の研究を行うプログラムです。講義は日本語及び英語で行われますので、受講するには充分な日本語能力又は英語能力が必要です。 人間社会学域、人間社会環境研究科及び法学研究科の特別聴講学生は、受入の学類(学部レベル)又は専攻(大学院レベル)の科目を1科目以上履修する必要があります。 また、国際機構が提供する日本語科目及び日本文化・社会学習科目を履修することができ、その多くが単位認定されます。 なお、在籍大学における卒業論文・修士論文・博士論文の指導は行いません。	渡日せずオンライン (双方向型かオンデマンド型) で提供される科目を履修します。
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	Θ	2023 年度受入可能数:制限なし ただし、人間社会学域での受入れば 100 名程度とします。また、過去 5 年間本学からの派遣実績がない大学からの受入れば、 学生交流覚書に記載の交流人数を上限とします。 (合否は学業成績、語学力、推薦書及び推薦順位、願書の内容、協定校との交流実績などによって総合的に判断されます。) 2022 年度受入実績数:141 名(人文社会科学系と理工・医薬保健学系の合計。オンラインのみの受入れ含む)	2023 年度受入可能数:若干名
田 格	次の各号に掲げる要件すべてを満たす者 年生の正規学生である者 2 日本語・日本文化に関する教育を行う学部・学 科に所属する者 3 日本語能力試験 N2 合格程度又はそれ以上の 日本語能力試験 N2 合格程度又はそれ以上の 日本語能力対験 N2 合格程度又はそれ以上の 日本語能力を有する者 4 在籍大学における学業成績が優秀で、人物等に 優れている者 5 金沢大学での留学期間終了後、在籍大学に戻 り、学業を継続する者又は学位を取得する者 6 金沢大学への留学にあたり、「留学」の在留資 格を確実に取得できる者 7 日本研究に対し、意欲的であり、1年間積極的 な姿勢で本プログラムの学習に専念する意志を 有する者	次の各号に掲げる要件すべてを満たす者 1 プログラム開始時に、金沢大学協定校の正規学生である者。ただし、理工学域及び医薬保健学域希望者の学部レベルは来目時に3年生以上であるこ 2 学業成績が優秀で、人物等に優れている者 3 留学の目的及び計画が明確で、本プログラムの学習に専念する意志を有する者 4 融合学域、理工学域、医薬保健学域及び大学院への受け入れを希望する者については、専門的な研究活動に従事する知識・能力があること。 5 金沢大学での留学期間終了後、在籍大学に戻り、学業を継続する者又は学位を取得する者 6 金沢大学での留学期間終了後、在籍大学に戻り、学業を継続する者又は学位を取得する者 6 金沢大学での留学期間終了後、在籍大学に戻り、学業を継続する者又は学位を取得する者 7 授業内容を理解できる日本語又は英語の能力がある者(日本語で行われる授業の履修を希望する者は、N2 以上の日本語教育専攻を希望する場合は、TOEFL-iBT 72、TOEFL-PBT 527,IELITS 5.5、又はケンプリッジ英語検定 160 以上の英語力)ただし、大学院で日本語教育専攻を希望する場合は、TOEFL-iBT 72、TOEFL-PBT 527,IELITS 5.5、又はケンプリッジ英語検定 160 以上の英語力)ただし、大学院で日本語教育専攻を希望する場合は、TOEFL-iBT 72、TOEFL-PBT 527,IELITS 5.5、又はケンプリッジ英語検定 160 以上の英語力)ただし、大学院で日本語教育専攻を希望する場合は、静台学域、理工学域(以上学部レベル)、医薬保健学域及び大学院生は、出願前に希望指導教員から受入れの内話を必要とする	学部レベルは来日時に3年生以上であること。 いに従事する知識・能力があること。 2 以上の日本語力、英語で行われる授業を履修する者は TOEIC Listening & Reading Test 700、 大学院で日本語教育専攻を希望する場合は、日本語力NI を必要とする れの内諾を必要とする
留計	300	4月入学:2023年4月から6か月又は12か月(渡日は3月最終週か4月第1週となる。) 10月入学:2023年10月から6か月又は12か月(渡日は9月最終週となる。)	4月入学: 2023年4月1日から9月(Q1、Q2) 2023年4月1日から6月(Q1) 10月入学: 2023年10月1日から3月(Q3,Q4) 2023年10月1日から12月(Q3)
願書等 の送付 予定	2023年1月下旬(文部科学省の通知時期による。)	2022年7月	
応募締 切	2023年2月下旬(文部科学省の通知時期による。)	4月入学: 2022年10月31日(月) 10月入学: 2023年2月28日(火) ※日本語・日本文化プログラムを第1希望としていた者: 2023年3月31日(金)	4月入学: 2022 年12月 27日 (火) 10月入学: 2023 年 6月 30日 (金)

4月入学:2023年2月中 10月入学:2023年8月中	KUEP 合格者が KUEP-Online に変更することを認める ・ただし受入教員が認める場合のみ ラ・科目の履修のみ可。研究指導は不可。	₹6 ₩	
4月入学: 2022 年12月 10月入学: 2023 年5月	4月入学:2022年12月中旬 10月入学:2023年7月中旬 [重要] 新型コロナウイルスの影響により、プログラム開始までに参加学生の日本への入国が不可能である場合は、プログラムを中止する可能性がある。プログラム実施の可否について、上記期日までに通知する。	金沢大学と学生交流の覚書を締結している協定校に在籍する学生には、日本学生支援機構(JASSO)から奨学金が支給される <u>可能性があります</u> (日本国政府と国交のある国の国籍を有する者。なお台湾、パレスチナの学生も対象とする。)。 2022 年度奨学金:月額 80,000 円 (受給人数には限りがあります。) なお、支給される条件は、上記の出願資格に加え、次の各号に掲げる要件すべてを満たす者とします。 1 成績が優秀な者 2 経済的理由により自費のみでの留学が困難な者 3 他の団体等から受けている金沢大学留学に係る奨学金等の支給月額の合計が、80,000 円を超えない者	留学期間中の修学において配慮を希望する場合は、以下の項目を記載した申請書(様式自由)を出願期限までに提出し、相談してください。 ついて 事項 事項
結果通 2023 年7月(文部科学省の通知時期による。) 知	プログ - ラム実 施の可 否	奨学金 日本政府(文部科学省)奨学金に申し込むことができます。 2022年度の奨学金の金額は、下記のとおりでした。金額は今後改定される場合があります。 奨学金:月額117,000円(※2022年度実績) 旅費:渡日旅費及び帰国旅費 なお、支給される条件は、上記の出願資格に加え、次に掲げる要件を満たす者とします。 1 日本政府が承認している国の国籍を有する者 2 2023年4月1日現在で満18歳以上満30歳未満の者(1993年4月2日から2005年4月1日までの間に出生した者) 過去に日本政府奨学金を受給した者については、2023年10月1日現在で、奨学金支給期間終了から3年以上経過している者	(

順書類を提出します 自分の在籍大学を通じて、金沢大学へ 応募者は、 各プロ グラム

ム、金沢大学交換留学プログラム又は金沢大学オンライン交換留学プログラムのいずれかを選んで申込むことができます。 応募者は、金沢大学日本語・日本文化研修プログラ

|奨学金採用候補者を決定し、併せて受入部局を決定します。 金沢大学は、選考機関の議を経て、受入候補者及び 1 0 c 4 共通事

び銀行の預金残高証明書(奨学金採用候補者以外)を提出します。これらの書類の提出がない場合、また感染症等の理由で留学に耐えうる十分な健康状態が確認できない場合は、受入を取り消すことがありま 受入れ候補者は健康診断書(全員)、経費支弁書及

ください。 渡日後は、本学で実施する健康診断を必ず受けて 日本国籍を有する者は JASSO 奨学金の対象となりません。 また、 JASSO 又は日本政府(文部科学省)奨学金応募者は、他大学の JASSO 奨学金プログラム、文部科学省奨学金又は現地大使館を通しての文部科学省奨学金に併願申請することはできません。

現役軍人又は軍属の資格のまま、応募することはできません。 5 (1) 8 4

授業料にしいて

詳しくは在籍大学に確認してください。 覚書記載の交換留学の学生数分の授業料は徴収されません。 大学に在籍している学生は、 本学と授業料の相互不徴収の覚書を締結している

下記のとおりです。授業料は今後 ť 2022 年度の授業料の金額 (予定) 相互不徴収協定を締結している大学からの交換留学の学生数が覚書記載の人数を超える場合又は覚書締結のない大学からの交換留学生の場合は、授業料を支払わなくてはなりません。 改定される場合があります。

外国人留学生(専門分野の研究に専念する者を除く。)は在留資格取得のため、週 10 時間 207,200 円/1 学期 (7科目程度)以上受講する必要があります。 (参考)7科目 (通常14単位) 《渡航を伴う場合のみ》 しき 29,700 円 つき 14,800 円 1か月に 1単位に 金沢大学での身分が、特別聴講学生 特別研究学

文化研修プログラムの学生は、覚書による交換留学生数の制限や不徴収規定の有無にかかわらず、授業料は徴収されません。 文部科学省奨学金を受ける金沢大学日本語・日本 3

《以下、渡航を伴う場合(KUEP-Online は対象外)

9 宿舎について

金沢大学で手配します。(ただし、入居希望数が大学宿舎の空室数を超える場合や、金沢大学で手配した宿舎ではなく民間のアパートに住むことを希望する場合は、自分で、不動産会社等でアパートを探さなければなりません。その場合、ワンルームのアパー トで(台所、トイレ・バス付)家賃は月額 40,000~60,000 円、敷金・礼金 150,000~300,000 円、保険料等がかかります。また、日本のアパートには、通常家具等はついていません。) 10 生活費について

です。生活できるだけの十分な資金を各自で準備してください。 金沢での一か月間の生活費は約8万円から 10 万円

(内訳)

住居費に3万円~5万円

・電気・水道・光熱費に約1万円

健康保険料に1,600円

食費に2万5,000円~3万円

その他の雑費に3万円~4万円

12

は、渡日後は申請できる奨学金はほとんどありません。必ず渡日前に十分な資金を準備してください。 ※渡日までに奨学金の受給予定のない交換留学生|

に加入しなければなりません。毎月1,500 円程度の保険料を支払う必要がありますが、病気やけがをしたときの医療費(治療費や入院費など)の自己負担が30%で済みます。 金沢大学では、すべての留学生が「国民健康保険、 国民健康保險

すべての留学生が「学生教育研究災害傷害保険」に加入しなければなりません。保険料は1,000円(1年間)です。金沢大学での教育研究活動などでの事故によって身体に障害を被った場合の補償制度です 外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険 学生教育研究災害傷害保險 金沢大学では、 13

1年間の保険料は1,860円(治療費補償なし)又は11,500円(治療費補償あり)、半年間の保険料は1,310円(治療費補償なし)又は8,060円(治療費補償 ざけでなく、日常生活において生じる怪我、病気、他人への賠償責任等を補償します。 すべての留学生が、「外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険」に加入しなければなりません。 あり)です。この保険は、大学における正課活動で 日本への入国

を申請しま 日本入国前に日本国大使館・領事館で留学のビザ(College Student Visa)を受けなければなりません。ビザの申請については、次のとおりです(注:金沢大学日本語・日本文化研修プログラムの学生で、 を学生に送付します。学生は、在外公館でパスポートとともに「在留資格認定証明書」を提示の上、「留学ビザ (College Student Visa)」 金沢大学が日本の入国管理局へ「在留資格認定証明書」を代理申請し、交付された「在留資格認定証明書」 を取得します)。 部科学省奨学金を受ける学生は、別の方法でビザ 日本へ留学の目的で入国しようとする外国人は、

|

この「在留資格認定証明書」は、日本入国時にも提出しなければならないので、必ず持参してください。

金沢大字国際部留字企画課留字支援係	FAX +81-76-234-4043	ホームページ http://kuglobal.w3.kanazawa-u.ac.jp/sie/
〒920-1192 石川県金沢市角間町	+81-76-264-5237 / 6178	st-exch@adm.kanazawa-u.ac.jp
合せ先 住 所	電話	E-mail